

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「コロナ禍の農政を考える」
「ポストコロナに向けて」

第204回通常国会が1月18日に開会され約1ヶ月ほど経ちました。令和3年も新型コロナウイルスとの戦いが続きます。

感染対策の決め手となるワクチンも2月下旬までには接種を開始できるよう準備も進んでいるところです。

先般の参議院本会議における所信表明演説にて、菅総理が2050年カーボンニュートラルの実現を宣言されました。社会経済を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、水素や洋上風力などの再生可能エネルギーを拡充、脱炭素に向けあらゆる取り組みを広げます。

また、15年後の2035年までに新車販売で電動車100%を実現することを表明しています。農業分野においても大変関連深いことあります。

さらに、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」の検討が始まりました。農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現、化学農薬・肥料使用量削減、有機農業面積の拡大など、調達から生産、加工、流通、消費までの各段階の取り

組みにより、地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が必要となります。15年後の新車販売で電動車100%の実現となれば、その時点で所有・使用しているトラックやトラクター、コンバイン等はこのような扱いになるのか、JAが運営するJA-SSS事業の在り方はどう変わるのか、本戦略への期待は農業現場においても大きな改革になると考えられます。

今は長期化しているコロナの影響からの脱却が最優先課題であります。食料安全保障という観点からも、家族経営を中心とした中小規模の経営体など多様な担い手の育成・確保を進め、豊かな食生活の実現に向け、農家組合員をはじめJAグループの皆様一丸となって現場の声を届けてまいります。



▲最近では専らWEB会議で現場と意見交換

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「求められる、コロナ禍のもつでの」
「メ政策の確立」

「需要に見合う生産・流通・販売を徹底しよう」

「コロナの感染拡大は各地の状況は異なるものの、罹患者が多い東京をはじめ、11都府県について非常事態宣言が出されました。何としてもコロナを取戻させねば、日本の景気は落ち込み、大変な事態になります。」

こうした「コロナまん延の環境下で、コメの在庫が積み上がっているのです。この原因は、生産調整の取り組みが徐々に弱くなってきていたことにあります。しかしながら、平成30年産からは、国は都道府県ごとの生産目標数量の設定を止めてしまいました。一体、これはどういうことなのか。良く言えば、「生産者自らが、または、JA・市町村等が戦略を描いて、判断して、生産・流通・販売を行うという、自主的な取り組みにした」ということなのです。

この政策は、一体何だったのでしょうか。農業者の自主性を尊重するというのは「かっこいい」のですが、一方で「米価を下げる、他の作物に転換させる、小規模農家や条件不利地域はコメから離脱させる、農地を他の農家や法人に貸す、大規模農家や法人を作り上げる」ということなの

です。

「支えは地域の「協同」の取り組みの強化です」

日本では、長い歴史の中で、また、気候風土の中で、さらに水田を中心とする農業地帯で、コメが技術的にも作りやすいので、コメ作りを進める形で農地も経営も維持してきたのです。

しかし、コメの消費は減っています。今のコメ作りを将来も継続してゆくことが難しいことを農業者自身も覚悟されているのだと思います。

多くの皆さんは、農業を生業とすること、家族一緒に働くこと、地域の皆さんとの協同の取り組みがあること、自然と共に働く農業に喜びがあることを生き甲斐にされてきているのです。大事な農地という財産を守りたいという皆さんの思いも考えながらも、これをどんな形で発展させていくか。

日本の風土に適したコメは作りやすい、水田も機械も揃っている。しかし、過剰在庫を飼料米や輸出に仕向けるというも限度があります。ですから麦や大豆や野菜等への転換が必須です。水田の畑地化や田畑輪環の基盤整備も実施に移していく必要があります。これらの取り組みを、地域の協同の取り組みで、実現していきましょ。

農業者の皆さんも、地域の皆さんも、一緒に頑張って、地域の暮らしを、農業生産活動を、そして、それを支えるべく皆さんで作りましたJAと協同して、取り組みを進めましょ。私もその取り組みを後押しすべく頑張ります。

参議院議員



Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

活 動 報 告

新型コロナ対策に全力で
立ち向かっています

より一層農政に多様な
農家の声を反映させます

農業と地域の未来に挑戦します

第204回通常国会初日
国会議事堂前にて



JA熊本経済連・果実連
東京事務所にて意見交換



第66回JA全国女性大会へ出席
(YouTubeライブ配信)



議員会館にて国政報告(Web形式)



地区別JA組合長・会長会議にて挨拶
(Web形式)



コロナ病床確保に向け、
こやり厚生労働大臣政務官を訪問



若手国会議員とJA全中との打合せ